

第13回日本がん相談年次大会プログラム プレセミナー（オンライン）

2025.3.1（土）17:30-18:30（17:15 入室開始）

プレセミナー

17:30-18:30

「変わりゆく社会の中で『人を支える普遍の想い』」

演者 玉置 妙憂（看護師・チャプレン・僧侶）

司会 山田 麻記子（東京科学大学病院）

第13回日本がん相談年次大会プログラム

2025.3.2 (日) 10:00-16:30 (9:00 開場) 聖路加国際病院 旧館5階 研修室 A

総合司会：品田 雄市 (東京医科大学八王子医療センター)

開会のあいさつ 岸田 さな江 (獨協医科大学病院) 10:00-10:05

基調講演 10:05-11:05

「がん治療の変遷とともに 相談支援のシンカ (深化・新化・進化) を考える」

福地 智巴 (静岡県立がんセンター /Maggie's 東京)

座長 岸田 さな江 (獨協医科大学病院)

シンポジウム 11:05-12:25

「社会の変化への対応と、かわらないがん相談員の技 (マインド) を未来に紡ぐ」

シンポジスト 前田英武 (高知大学医学部附属病院)

櫻井 史子 (独立行政法人 国立病院機構 高崎総合医療センター)

福島 美幸 (四国がんセンター)

田中 結美 (京都第一赤十字病院)

座長 関根 知嘉子 (独立行政法人 国立病院機構 大阪医療センター)

岸田 さな江 (獨協医科大学病院)

昼食 (総会) 12:25-13:45

一般演題 13:45-15:40

座長：第1部 藤松 義人 (鳥取県立中央病院)

三木 晃子 (大阪公立大学大学院)

第2部 酒見 惇子 (神戸大学医学部附属病院)

平野 香純 (国立大学法人筑波大学附属病院)

休憩 15:40-15:50

教育講演 15:50-16:20

「対話型 AI とがん相談」 part II

東 尚弘 (東京大学大学院 医学系研究科 公衆衛生学分野 教授)

座長 久住 真有美 (慶應義塾大学病院)

閉会式 次期大会長あいさつ 福島 美幸 (四国がんセンター) 16:20-16:30

一般演題

一部

座長 藤松 義人 鳥取県立中央病院
三木 晃子 大阪公立大学大学院

1. がん専門相談員の初期研修の提供機会拡大の試み：研修提供効果の 定量的評価
小郷 祐子 国立研究開発法人国立がん研究センターがん対策研究所
2. がん専門相談員の初期研修の提供機会拡大の試み：研修提供効果の 定性的評価
齋藤 弓子 国立研究開発法人国立がん研究センターがん対策研究所
3. がん相談の倫理とは何か―「北関東甲信越相談支援フォーラム in 栃木」を振り返って―
水野 恵美 那須赤十字病院がん相談支援センター
4. がん相談支援センターの周知度向上への継続した取り組み
吉田 優子 日本大学医学部附属板橋病院がん相談支援センター
5. 東京都「AYA 世代がん相談情報センター」の活動報告
橋本 久美子 聖路加国際病院 相談支援センター / AYA サバイバーシップセンター
6. 脳腫瘍患者の就労支援に関する取り組み ～就労支援ガイドブックの作成・活用・考察～
久住 真有美 慶應義塾大学病院医療連携推進部／がん相談支援センター

二部

座長 平野 香純 国立大学法人筑波大学附属病院がん相談支援センター
酒見 惇子 神戸大学医学部附属病院がん相談支援センター

7. がん専門相談員が実践する効果的なコミュニケーションに関する検討
―チャット相談における情報提供・相談支援に焦点を当てて―
櫻井 雅代 国立研究開発法人国立がん研究センターがん対策研究所
8. がん遺伝子パネル検査に伴う病院損失を防ぐためのシステム構築
- 簡易スクリーニングと電子カルテ共有ネットワークの活用 -
藤松 義人 鳥取県立中央病院がん相談支援センター
9. 新型コロナウイルス感染症 5 類移行前後のがん相談の動向と今後の課題
北川 善子 国立病院機構九州がんセンターがん相談支援センター
10. がん相談支援センター企画・運営による
がんサバイバーのためのサポートグループに関する活動報告
～ COVID-19 流行に伴う休止後の取り組み～
宮城 八重子 がん研究会 有明病院がん相談支援センター
11. がん患者および市民の HPV に関連した情報ニーズの実態
宮本 紗代 国立研究開発法人国立がん研究センターがん対策研究所